

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010201030100	事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	学校給食運営事業	予算事業名	学校給食運営事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)	家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項	学校給食の充実と食育の推進を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名	学校給食食育推進事業		学校給食運営事業			
	学校給食室集約事業					
根拠法規及び関連法規	学校給食法(昭和二十九年六月三日法律第六十号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園、小中学校の園児、児童、生徒及び保護者				
	誰(何)を対象として	園児、児童、生徒の健康増進、保護者の負担軽減				
	意図(どのような状態にしたいのか)	学校給食による園児、児童、生徒の体と心の健全な育成				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	給食実施回数	回	186	183	168	185

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	6.128	7.657	125	7.160	94	7.300	102	
	臨時職員	23.076	20.884	91	21.291	102	22.295	105	
支出内訳	人件費	108,449,200	115,119,674	106	107,579,159	93	87,672,851	81	
	事業費	123,050,849	118,048,477	96	110,991,752	94	126,802,000	114	
	合計	231,500,049	233,168,151	101	218,570,911	94	214,474,851	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	89,350	108,990	122	112,040	103	40,000	36	
	一般財源	231,410,699	233,059,161	101	218,458,871	94	214,434,851	98	
合計	231,500,049	233,168,151	101	218,570,911	94	214,474,851	98		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		給食無料化事業実績							
指標説明(式)		給食費を無料化したことによる保護者の負担軽減額							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	106,352,000	-	102,476,000	96.4	103,233,000	100.7	
	実績	104,131,830	98,258,209	94.4	91,808,358	93.4			
指標名2		学校給食における地産地消食材の使用実績(相生市内産)							
指標説明(式)		地産食材品目数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
品	目標	-	35	-	35	100.0	35	100.0	
	実績	30	35	116.7	30	85.7			

【効率性】

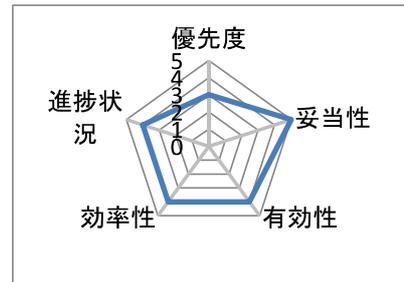
指標名1		1日あたりの給食経費							
指標説明(式)		事業費÷給食実施日数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	682,117	-	558,017	81.8	
	実績	661,563	645,073	97.5	546,478	84.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	西播磨地域の地産食材を積極的に取り入れることで、食育の推進を図った。	4
	上位施策への貢献度	兵庫県下で唯一、幼稚園・小・中学校給食完全無償化を実現しており、子育て世代に対する定住促進施策の一助となっている。	
効率性	コストの節減	給食単価に見合った食材の選定や配送運搬ルート及び配送時間の見直しをすることで、給食調理・配送体制の見直しを行った。	4
	手段の最適性	学校間の調理方法等を、給食部会に各校が調理した給食1品を持ち寄り、調理方法や味付けについて他校の調理と自校の調理を比較し、味・調理方法の統一化に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	小学校7校での自校給食調理体制を見直し、人件費を含むコスト削減について検討する。



配点	32.5
総合評価	25.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	単独調理校である那波小学校、矢野小学校給食室を廃止し、調理業務を他の5校の給食室に集約する。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	給食員の適正配置及び給食室の環境整備に努め、安心・安全な給食の実施と食育の推進を目指す。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010201040100		事業の種類	5		
年度	1	事務事業名	学校支援地域本部事業		予算事業名	学校支援地域本部事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		家庭・地域・学校が連携し健康な子どもを育てる		担当課長		担当者名		
取組み事項		家庭・地域・学校の連携を深める		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童、中学校生徒						
	誰(何)を対象として	小学校児童、中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民による学校支援活動を行い、地域全体で学校教育を支援する体制を整備する						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		学校支援ボランティアの活動により、学校教育を支援する				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	年間活動日数	日数	218	230	235	230
	ボランティア登録者数	人	685	640	682	700

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.064	0.064	100	0.064	100	0.084	131	
	臨時職員	0.448	0.451	101	0.400	89	0.399	100	
支出内訳	人件費	2,045,096	2,094,335	102	1,867,669	89	1,562,547	84	
	事業費	247,100	244,700	99	225,900	92	234,000	104	
	合計	2,292,196	2,339,035	102	2,093,569	90	1,796,547	86	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	495,000	553,580	112	450,900	81	560,000	124	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,797,196	1,785,455	99	1,642,669	92	1,236,547	75	
合計	2,292,196	2,339,035	102	2,093,569	90	1,796,547	86		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		年間活動数							
指標説明(式)		回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回数	目標	3000	3000	100.0	3000	100.0	3000	100.0	
	実績	2726	2726	100.0	2736	100.4			
指標名2		ボランティア登録者数							
指標説明(式)		ボランティア登録者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	700	700	100.0	700	100.0	700	100.0	
	実績	685	640	93.4	682	106.6			

【効率性】

指標名1		実施校一校あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷実施学校数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	271839	236870	87.1	235876	99.6	179655	76.2	
	実績	229219	233903	102.0	209357	89.5			

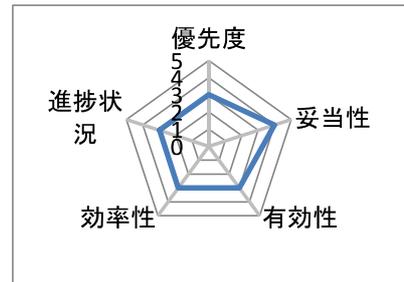
指標名2		登録ボランティア人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷ボランティア登録者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3883	3383	87.1	3369	99.6	2566	76.2	
	実績	3346	3654	109.2	3070	84.0			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	年間を通じてボランティアの参加を呼びかけ、登録数の増につながった。	3
	市民サービス	ボランティアによるさまざまな学校支援活動を通じて、児童生徒への支援を行う。	
効率性	手段の最適性	ボランティアの登録は、学校を通じて行った。	3
	手段の最適性	登下校の見守りや環境美化活動など、学校支援活動を実施し、学校教育を支援するとともに、学校と地域住民との連携を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	登録ボランティアの確保。



配点	32.5
総合評価	21

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	ボランティアに地域住民が入ることで、地域の教育力が活性化される。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	人口減少及び高齢化によりボランティアの確保が難しい。適正な学校支援を図るために、参加の呼びかけ方法も検討し直す必要がある。				
見直事項	補助金の額が減少している中で、事業の組み立てを考慮する必要がある。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202010100	事業の種類	1
年度	1	事務事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業	予算事業名	小学校特別支援教育就学奨励事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会教育管理課	
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する	担当課長	團 剛	担当者名 松本 千華
取組み事項		確かな学力の定着を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する児童の保護者			
	誰(何)を対象として	学費の一部			
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する児童の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	対象人員	人	19	22	27	30

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.094	0.088	94	0.088	100	0.088	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,096,604	1,023,932	93	1,025,029	100	1,009,197	98	
	事業費	598,158	661,779	111	882,432	133	1,114,000	126	
	合計	1,694,762	1,685,711	99	1,907,461	113	2,123,197	111	
財源内訳	国庫支出金	299,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,395,762	1,685,711	121	1,907,461	113	2,123,197	111	
合計	1,694,762	1,685,711	99	1,907,461	113	2,123,197	111		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

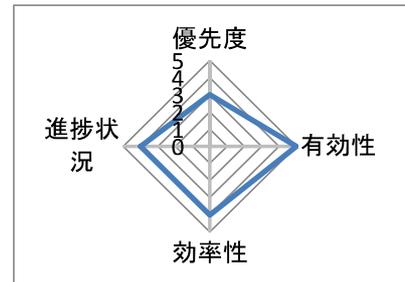
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童の教育の機会均等が図られている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は適さない。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	普通学級の補助対象者についても、学校等と連携し情報把握に努める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	必要な情報や制度の周知など、速やかに各学校及び対象者へ発信する。

配点	25
総合評価	19

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	特になし。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202010200	事業の種類	1
年度	1	事務事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業	予算事業名	中学校特別支援教育就学奨励事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会教育管理課	
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する	担当課長	團 剛	担当者名 松本 千華
取組み事項		確かな学力の定着を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	特別支援学級へ就学する生徒の保護者			
	誰(何)を対象として	学費の一部			
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		特別支援学級へ就学する生徒の保護者に対して学費の一部を補助し、経済的支援を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	対象人員	人	5	6	4	11

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.094	0.088	94	0.088	100	0.088	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,096,604	1,023,932	93	1,025,029	100	1,009,197	98	
	事業費	246,079	145,577	59	275,550	189	947,000	344	
	合計	1,342,683	1,169,509	87	1,300,579	111	1,956,197	150	
財源内訳	国庫支出金	114,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,228,683	1,169,509	95	1,300,579	111	1,956,197	150	
合計	1,342,683	1,169,509	87	1,300,579	111	1,956,197	150		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

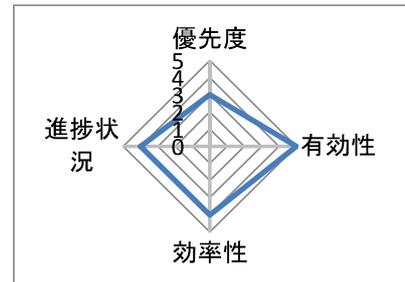
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒の教育の機会均等が図られている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法令の意図する状態に合致している。	
効率性	コストの節減	国庫補助基準を準用しているため、減額は適さない。	4
	執行体制の効率性	学校及び学校教育課との連携が不可欠。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	普通学級の補助対象者についても、学校等と連携し情報把握に努める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	必要な情報や制度の周知など、速やかに各学校及び対象者へ発信する。

配点	25
総合評価	19

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	特になし。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202010300	事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	指定教育等研究研修事業	予算事業名	指定教育等研究研修事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取り組み事項		確かな学力の定着を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		指定教育等研究研修事業				
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒及び教諭				
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒及び教諭				
	意図(どのような状態にしたいのか)	教諭の研修による資質の向上による適正な学校管理運営を図る。特別支援用・教師用教科書図書を補充する。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学校児童・生徒の教育指導及び教師の研修による資質の向上を図り、適正な学校管理運営を推進する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.128	0.084	66	0.120	143	0.100	83	
	臨時職員	0.012	0.012	100		0		-	
支出内訳	人件費	1,390,624	1,027,424	74	1,261,509	123	1,099,161	87	
	事業費	562,939	2,122,259	377	765,655	36	9,593,000	1,253	
	合計	1,953,563	3,149,683	161	2,027,164	64	10,692,161	527	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,953,563	3,149,683	161	2,027,164	64	10,692,161	527	
合計	1,953,563	3,149,683	161	2,027,164	64	10,692,161	527		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

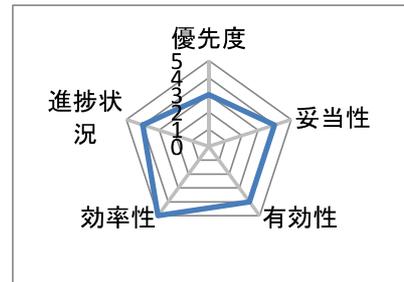
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	計画的な授業研究の実施により教職員の資質向上に有効であった。	4
	市民サービス	保護者の要望等に対応できる教職員の資質向上に貢献できた。	
効率性	執行体制の効率性	教職員それぞれが効率よく職務を遂行できる体制の確立を図ることができた。	5
	コストの節減	各種指導書等の必要数を精査し、コスト削減に繋げた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	学習指導要領改訂に伴う、研修体制の再構築及び環境整備を進める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	中学校教科書採択の結果を踏まえ、教材研究を進める。

配点	32.5
総合評価	25

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	中学校学習指導要領改訂に向けた環境整備を行う。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202010700		事業の種類	3		
年度	1	事務事業名	小学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也		担当者名	竹口 智哉
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		教育用パソコン更新						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童						
	誰(何)を対象として	小学校児童						
	意図(どのような状態にしたいのか)	小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクールの実施に伴う消耗品の支出、コンピュータ、インターネット維持管理。学校図書館活性化事業委託による小中学校図書館運営。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	学校図書館従事者配置校数	校	7	7	7	7	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.336	0.360	107	0.360	100	0.240	67	
	臨時職員	7.663	6.952	91	7.188	103	7.208	100	
支出内訳	人件費	23,148,702	22,296,068	96	21,364,509	96	12,686,837	59	
	事業費	36,346,576	43,085,509	119	42,980,437	100	39,816,000	93	
	合計	59,495,278	65,381,577	110	64,344,946	98	52,502,837	82	
財源内訳	国庫支出金	350,000	350,000	100	350,000	100		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	59,145,278	65,031,577	110	63,994,946	98	52,502,837	82	
合計	59,495,278	65,381,577	110	64,344,946	98	52,502,837	82		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校図書館業務従事者勤務日数							
指標説明(式)		1校当たりの学校図書館業務従事者勤務日数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
日	目標	120	120	100.0	120	100.0	120	100.0	
	実績	123	122	99.2	122	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

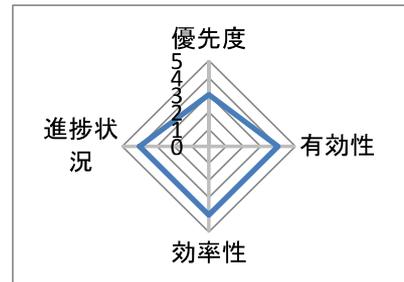
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	調べ学習等の際に新聞、図書室の蔵書を活用することで小学校児童の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図った。	4
	組織運営・適正管理	交付税算定基礎数値に基づく予算の確保及び制度趣旨に沿った適正な執行を行った。	
効率性	手段の最適性	予算執行が適正に行われた。	4
	執行体制の効率性	各学校において予算執行が効率的に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	各小学校の規模や地域性を活かした学校運営を行うために、配当予算を有効に執行する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	新学習指導要領に対応するため、GIGAスクール構想を踏まえたICTの環境整備を進める。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	GIGAスクール構想による「1人1台端末の整備」を受け、端末を活用した授業に向けた研究・準備を進める。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202010900		事業の種類	3		
年度	1	事務事業名	中学校一般事務経費		予算事業名	教育振興費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉	
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	中学校生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図る。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		読書感想文、科学研究記録の審査・表彰、運動会、オープンスクール、の実施及び音楽会参加に伴う消耗品等の支出、コンピュータ、インターネット維持管理。学校図書館活性化事業委託による学校図書室運営。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	学校図書館従事者配置校数	校	3	3	3	3	

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.312	0.272	87	0.260	96	0.240	92	
	臨時職員	0.744	0.200	27	0.280	140	0.240	86	
支出内訳	人件費	4,738,824	2,945,588	62	3,010,109	102	2,499,621	83	
	事業費	19,094,153	19,018,410	100	18,046,696	95	18,727,000	104	
	合計	23,832,977	21,963,998	92	21,056,805	96	21,226,621	101	
財源内訳	国庫支出金	600,000	590,000	98		0		-	
	県支出金	237,000	267,000	113		0		-	
	市債			-		-		-	
	その他	209,610	268,170	128		0		-	
	一般財源	22,786,367	20,838,828	91	21,056,805	101	21,226,621	101	
	合計	23,832,977	21,963,998	92	21,056,805	96	21,226,621	101	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		学校図書館業務従事者勤務日数							
指標説明(式)		1校当たりの学校図書館業務従事者日数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
日	目標	40	40	100.0	40	100.0	40	100.0	
	実績	40	36	90.0	38	105.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

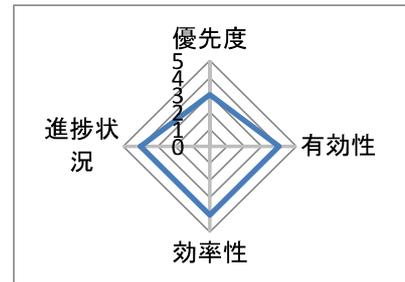
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ICT機器の活用等により、中学校生徒の学習能力の向上と学習意欲の高揚を図れた。	4
	組織運営・適正管理	学校教育における適正予算の配分及び執行が適正に行われた。	
効率性	手段の最適性	各校の需要に応じた予算配当により、学校規模や地域性等に見合った事業を実施できた。	4
	執行体制の効率性	教材消耗品、教材備品、図書購入費等、各学校の現状及び目的に沿った予算執行が適正に行われた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	学習指導要領改訂を見据えた各校での予算執行を徹底する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	学習指導要領改訂を見据えた各校での予算執行を徹底する。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202011100	事業の種類	4
年度	1	事務事業名	中学校外国人英語指導助手招致事業	予算事業名	外国人英語指導助手招致事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する			
取組み事項		確かな学力の定着を図る			
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒			
	誰(何)を対象として	中学校生徒			
	意図(どのような状態にしたいのか)	中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力の向上を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	実施日数	日	220	219	212	218

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.120	0.120	100	0.120	100	0.120	100	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.040	100	
支出内訳	人件費	1,402,632	1,372,580	98	1,363,509	99	1,307,581	96	
	事業費	4,941,172	4,974,098	101	4,670,815	94	1,649,000	35	
	合計	6,343,804	6,346,678	100	6,034,324	95	2,956,581	49	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,343,804	6,346,678	100	6,034,324	95	2,956,581	49	
合計	6,343,804	6,346,678	100	6,034,324	95	2,956,581	49		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学校における外国人英語指導助手の勤務日数							
指標説明(式)		外国人英語指導助手の勤務日数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
日	目標	225	220	97.8	220	100.0	218	99.1	
	実績	220	218	99.1	212	97.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

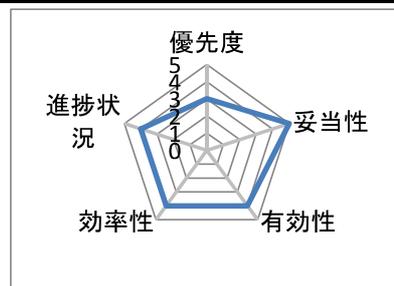
指標名1		生徒1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷生徒人数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9,403	8,809	93.7	8,103	92.0		0.0	
	実績	7,957	7,772	97.7	7,298	93.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒への効果的な英語指導が実施でき、外国人とのコミュニケーションの抵抗感が軽減された。	4
	成果の向上	生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができた。	
効率性	執行体制の効率性	外国人英語指導助手によるネイティブの英語学習を効率的に実施することができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	英語教諭と外国人指導助手とのチーム・ティーチング体制の確立。



配点	32.5
総合評価	25.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	中学校英語部会を中心に、外国人指導助手の活用について検討する。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202011300		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	ぐんぐん学力アップ事業		予算事業名	ぐんぐん学力アップ事業 優先度 3		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也		担当者名	竹口 智哉
取組み事項		確かな学力の定着を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒						
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童生徒の学力の状況を把握し、各小・中学校で学力向上の取り組みを推進する。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		全国レベルの標準学力検査(小学校4、5年 国語・算数、中学校1、2年 国語・数学・英語)を実施し、児童生徒の学力の状況を把握・分析しながら、各小中学校での学力向上の取り組みを推進する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	対象者数	人	874	835	886	922	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.152	0.152	100	0.148	97	0.168	114	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
支出内訳	人件費	1,565,320	1,521,860	97	1,488,829	98	1,620,653	109	
	事業費	807,480	816,960	101	802,160	98	878,000	109	
	合計	2,372,800	2,338,820	99	2,290,989	98	2,498,653	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,372,800	2,338,820	99	2,290,989	98	2,498,653	109	
合計	2,372,800	2,338,820	99	2,290,989	98	2,498,653	109		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		児童・生徒一人当たりのコスト							
指標説明(式)		決算額÷児童・生徒数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標	1,054	905	85.9	970	107.2	952	98.1	
	実績	924	978	105.8	905	92.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

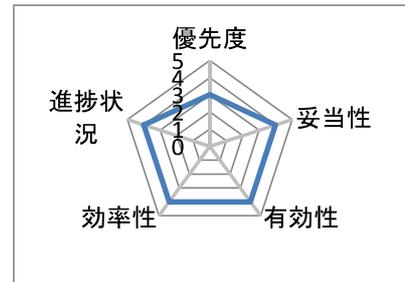
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	児童・生徒の状況を把握し、学習能力の向上を図ることに努めた。	4
効率性	執行体制の効率性	標準学力検査を利用し、効果的に児童・生徒の学力向上を図る。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	全国学力学習状況調査を含む、継続的な評価・分析を行う。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	小中一貫の視点での、結果分析・指導の継続。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202011800	事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	英語教育推進事業	予算事業名	英語教育推進事業	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		確かな学力の定着を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒				
	誰(何)を対象として	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼児期から小・中学校まで、発達段階に応じた英語教育を充実し、英語によるコミュニケーション能力を養う。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		英語教育の専門家の監修やアドバイスを受けながら、幼児期から中学校卒業までの12年間を通じた体系的な取り組みを推進する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	FLT勤務日数	日	300	285	282	285

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.136	0.136	100	0.160	118	0.140	88	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,420,760	1,380,764	97	1,557,109	113	1,399,041	90	
	事業費	7,414,770	7,415,170	100	7,255,920	98	6,630,000	91	
	合計	8,835,530	8,795,934	100	8,813,029	100	8,029,041	91	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,835,530	8,795,934	100	8,813,029	100	8,029,041	91	
合計	8,835,530	8,795,934	100	8,813,029	100	8,029,041	91		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		英語が好きと感じる児童の割合							
指標説明(式)		小学3、4年生対象アンケート調査結果							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	-	-	-	80.0	-	80.0	100.0	
	実績	83.8	86.2	102.9	88.5	102.7			
指標名2		1幼稚園あたりのFLT平均勤務日数							
指標説明(式)		FLT勤務日数÷6園							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
日	目標	50	48	96.0	47	97.9	48	102.1	
	実績	50	48	96.0	47	97.9			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

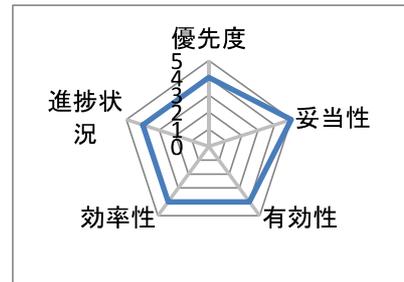
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	中学校卒業までの期間で、話す・聞くなど実践型の生きた英語に親しみ、コミュニケーション能力を養う。	4
	成果の向上	幼児期から中学校卒業までの12年間を通じ、一つながりで体系的な取組みを行い、実践型の生きた英語を習得する環境づくりを推進した。中学2・3年生を対象に、英検IBAテストを実施し、英検3級取得に向けた支援を行った。	
効率性	手段の最適性	教育の効果を高めるために、幼稚園、小学校については同じ委託業者の講師が継続して指導にあっている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	中学2・3年生を対象に、英検IBAテストを実施した。受験時期やテストのレベル等について各中学校や英語部会と連携し、再検討を要する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	英検IBAテストをについて、各中学校や英語部会と連携し、より効果の高い手法を検討する。

配点	32.5
総合評価	27.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	中学校学習指導要領改訂に伴う、教育環境の整備を進める。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	拡大	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202020300	事業の種類	5	
年度	1	事務事業名	小学校体験活動事業	予算事業名	小学校体験活動事業	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		豊かな心の育成を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童3年生・5年生				
	誰(何)を対象として	小学校児童3年生・5年生				
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動とおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成することを目的とする。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		児童が人や自然、地域社会と触れあい、さまざまな体験活動とおし自分で考え問題解決する力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	参加数	人	446	473	478	456

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.104	0.104	100	0.120	115	0.120	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,173,784	1,142,876	97	1,261,509	110	1,249,101	99	
	事業費	6,570,000	6,620,000	101	6,620,000	100	6,530,000	99	
	合計	7,743,784	7,762,876	100	7,881,509	102	7,779,101	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	3,272,000	3,308,000	101	3,308,000	100	3,262,000	99	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,471,784	4,454,876	100	4,573,509	103	4,517,101	99	
合計	7,743,784	7,762,876	100	7,881,509	102	7,779,101	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

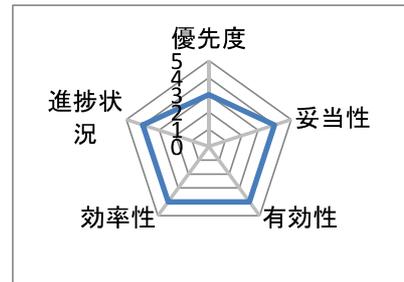
指標名1		児童1人のコスト							
指標説明(式)		決算額÷参加児童数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	14,633	13,996	95.6	13,849	98.9	14,320	103.4	
	実績	14,731	13,996	-	13,849	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	多くの児童が自然に接することにより、自立への高揚を図れた。	4
	期待する目標	さまざまな社会体験を得ることにより、社会に優しい人間としての育成を図ることができた。	
効率性	執行体制の効率性	計画的に行事を実施することにより、適正な実施をすることができた。	4
	手段の最適性	期間、場所など最適の環境の中で実施された。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	各小学校区の規模や地域性等の特色を活かした計画の立案を徹底する。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	各小学校において新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた、計画・事業実施を徹底する。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202020400	事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	心豊かな体験活動推進事業	予算事業名	心豊かな体験活動推進事業 優先度 3	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項	豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒				
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の社会体験により社会的自立の高揚と健全育成を目的とする。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		心肺蘇生法実践研修、トライやるウィーク事業による社会体験実施により、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め、「生きる力」を育む。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	トライやるウィーク参加人数	人	200	199	232	210

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.120	0.160	133	0.120	75	0.120	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,297,272	1,559,180	120	1,261,509	81	1,249,101	99	
	事業費	1,718,946	1,712,982	100	1,876,660	110	2,023,000	108	
	合計	3,016,218	3,272,162	108	3,138,169	96	3,272,101	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	900,000	900,000	100	1,050,000	117	1,050,000	100	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,116,218	2,372,162	112	2,088,169	88	2,222,101	106	
合計	3,016,218	3,272,162	108	3,138,169	96	3,272,101	104		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		トライやるウィークアンケート結果(生徒)							
指標説明(式)		充実感を感じた者数÷生徒数(2年生)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	90	90	100.0	90	100.0	90	100.0	
	実績	94	96	102.1	94	97.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

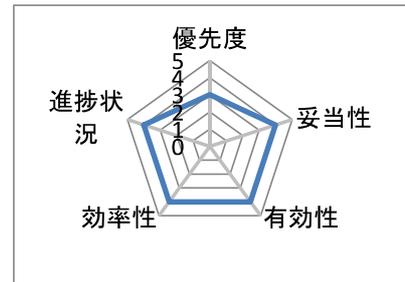
指標名1		トライやるウィークアンケート結果(事業者)							
指標説明(式)		生徒に変化が見られたと感じた事業者数/事業者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	70	70	100.0	70	100.0	70	100.0	
	実績	77	75	97.4	72	96.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒の社会体験としては十分に目標達成している。	4
	市民サービス	市民の参画と協働を基盤に市民が一体となった教育の一環として機能している。	
効率性	手段の最適性	安全面等考慮し、1週間の限られた期間を有効活用できるスケジューリングにより、目標に見合った成果が得られた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	生徒が希望する職種での体験を実現させるため、事業者の確保に努める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、実施時期・内容等を十分検討の上、実施する。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

事業番号		010202020500		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	適応教室事業	予算事業名	適応教室事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		豊かな心の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	小・中学校の不登校児童・生徒の指導・援護による学校復帰を図る。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小・中学校の不登校児童・生徒に学習の援助をしながら、学校復帰へ導く。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	教育相談	件	19	16		15
	ふれあい教室	回	6	6	6	6

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.120	150	
	臨時職員	0.423	0.818	193	0.402	49	0.400	100	
支出内訳	人件費	2,102,734	3,229,502	154	1,991,009	62	1,833,901	92	
	事業費	2,121,926	2,116,871	100	2,071,847	98	374,000	18	
	合計	4,224,660	5,346,373	127	4,062,856	76	2,207,901	54	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,224,660	5,346,373	127	4,062,856	76	2,207,901	54	
合計	4,224,660	5,346,373	127	4,062,856	76	2,207,901	54		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		ふれあい教室活動							
指標説明(式)		年間活動回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
回	目標	6	6	100.0	6	100.0	6	100.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

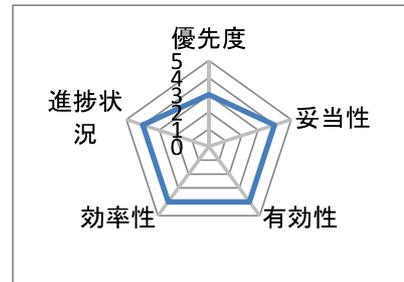
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	保護者への理解と協力が得られた。	4
効率性	コストの節減	コストに見合った成果を得た。	4
	手段の最適性	子どもの特徴に応じた悩み相談、勇気付け、ふれあい教室への参加等により、学校復帰を図っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	入室している児童生徒の、個々の課題に応じた支援を充実させる。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		支援体制を維持し、継続的な支援を行う。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202020600	事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	相生っ子かがやき顕彰事業	予算事業名	相生っ子かがやき顕彰事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		豊かな心の育成を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小中学校の児童・生徒				
	誰(何)を対象として	小中学校の児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	成績が顕著な個人・団体に対し、スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ、文化芸術の推進を図る。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において成績が顕著な中学生以下の者に対して、相生っ子かがやき顕彰を贈呈する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	贈呈数	人・団体	12	3	4	10

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.064	0.064	100	0.072	113	0.072	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	865,064	845,516	98	906,789	107	889,245	98	
	事業費	29,400	15,795	54	17,594	111	60,000	341	
	合計	894,464	861,311	96	924,383	107	949,245	103	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	894,464	861,311	96	924,383	107	949,245	103	
合計	894,464	861,311	96	924,383	107	949,245	103		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

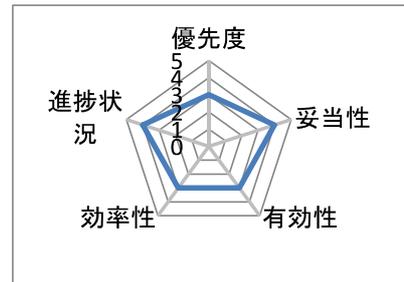
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ・文化芸術顕彰を贈呈することにより、本市のスポーツ・文化芸術の推進を図った。	3
効率性	執行体制の効率性	表彰対象となる成績の優秀な個人又は団体の把握に努める。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	文化芸術に関する表彰候補者の把握について、各小中学校と共通認識のもと徹底を図る。



配点	32.5
総合評価	22

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202020700	事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	創意ある学校園づくり推進事業	予算事業名	創意ある学校園づくり推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		豊かな心の育成を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒				
	誰(何)を対象として	幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもの豊かな成長を図ることを目的として、創意ある教育活動を展開する事業に要する経費について、補助を行う。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かしたもので、事業を進めていくうえで、教職員、児童・生徒が一体となった主体的・創造的な取り組みが期待できる事業。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	補助件数	件	16	16	16	16

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.144	0.144	100	0.080	56	0.140	175	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,482,504	1,440,236	97	965,909	67	1,399,041	145	
	事業費	4,194,400	4,103,900	98	2,215,000	54	2,100,000	95	
	合計	5,676,904	5,544,136	98	3,180,909	57	3,499,041	110	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-	150,000	-		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,676,904	5,544,136	98	3,030,909	55	3,499,041	115	
	合計	5,676,904	5,544,136	98	3,180,909	57	3,499,041	110	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助学校園数							
指標説明(式)		補助学校園数 ÷ 総学校園数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

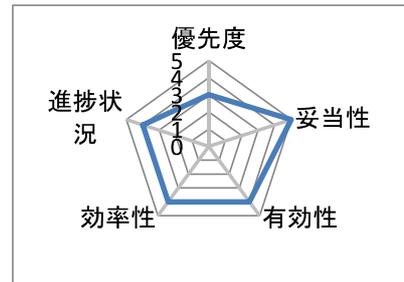
指標名1		1校当たりのコスト							
指標説明(式)		決算額÷補助学校園数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	262,500	262,500	100.0	131,250	50.0	131,250	100.0	
	実績	262,150	256,493	97.8	138,438	54.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	特色ある教育活動への積極的な取り組みを行い、児童・生徒が楽しく学べる学校、保護者が安心して通わせることのできる学校の具現化を図る。	4
	成果の向上	学校、地域の特色を生かした事業計画を教職員の積極的な提案により、計画することができた。また、矢野川中学校で「プロから学ぶ」、双葉中学校区で「主体的・対話的で深い学び」を県補助により実施し、成果を得た。	
効率性	手段の最適性	学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かした特色ある教育活動を学校園単位に実施した。また、中学校区毎に幼・小・中連携を目的とした事業を実施した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	「みんなの学校事業」の幼小中一貫の取り組みについて、各中学校区で目的を共有し、連携体制を強化する必要がある。



配点	32.5
総合評価	25.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	学校、児童・生徒及び地域の実態や特性などを生かした特色ある教育活動を計画する。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	各中学校区単位での、幼小中一貫の取り組みを推進する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202030200		事業の種類	3				
年度	1	事務事業名	クラブ活動運営事業		予算事業名	クラブ活動運営事業		優先度	3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課					
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也		担当者名	竹口 智哉		
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
実施計画事業名		吹奏楽部楽器リース契約								
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒								
	誰(何)を対象として	中学校生徒								
	意図(どのような状態にしたいのか)	クラブ活動をとおり、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成を図る。								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		放課後クラブ活動をとおり、体力の増進、協調性、想像力の高揚を図ることを目的として日々鍛錬する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.152	0.144	95	0.140	97	0.140	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,544,248	1,440,236	93	1,409,309	98	1,399,041	99	
	事業費	2,458,948	1,575,221	64	1,566,860	99	2,226,000	142	
	合計	4,003,196	3,015,457	75	2,976,169	99	3,625,041	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,003,196	3,015,457	75	2,976,169	99	3,625,041	122	
合計	4,003,196	3,015,457	75	2,976,169	99	3,625,041	122		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

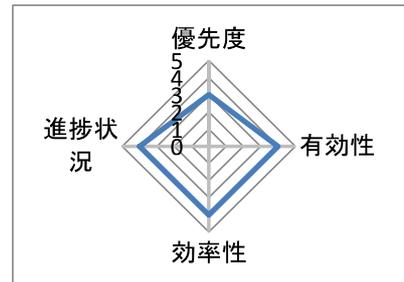
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	クラブ活動をととして、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成が図れた。	4
	組織運営・適正管理	4名の部活動指導員を配置し、顧問の負担軽減と、指導の充実を図った。	
効率性	コストの節減	保守委託、賃借契約等により、楽器等の購入費の削減が図れた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	部活動指導が可能な地域人材の確保が難しい。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	部活動指導員を活用した指導体制の確立に向け、各中学校と連携し事業の推進を図る。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容					
重点事項	顧問の負担軽減と、指導の充実を図る。					
見直事項						
新規事項						
方向	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>継続</td> <td>成果</td> <td>維持</td> <td>総コスト</td> <td>維持</td> </tr> </table>	継続	成果	維持	総コスト	維持
継続	成果	維持	総コスト	維持		

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202030300		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	学校教育ペーロン祭協賛事業		予算事業名	ペーロン祭協賛球技大会事業 優先度		3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也		担当者名	竹口 智哉
		取組み事項	健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒							
	誰(何)を対象として	中学校生徒							
	意図(どのような状態にしたいのか)	生徒の健康増進を目的として、ペーロン祭の協賛事業として実施する。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		生徒の健康増進を目的としてペーロン祭に西・中播磨の中学校の上位野球部を招致し、協賛事業として実施する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	野球	チーム	15	15	15	15
	バレー	チーム	54	-	-	-

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.144	0.148	103	0.140	95	0.140	100	
	臨時職員	0.012		0		-		-	
支出内訳	人件費	1,514,112	1,469,972	97	1,409,309	96	1,399,041	99	
	事業費	735,900	476,800	65	445,600	93	440,000	99	
	合計	2,250,012	1,946,772	87	1,854,909	95	1,839,041	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	246,000	96,000	39	96,000	100	96,000	100	
	一般財源	2,004,012	1,850,772	92	1,758,909	95	1,743,041	99	
合計	2,250,012	1,946,772	87	1,854,909	95	1,839,041	99		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加校数							
指標説明(式)		中・西播磨中学校参加校による交流実績							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
校	目標	70	15	21.4	15	100.0	15	100.0	
	実績	69	15	21.7	15	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

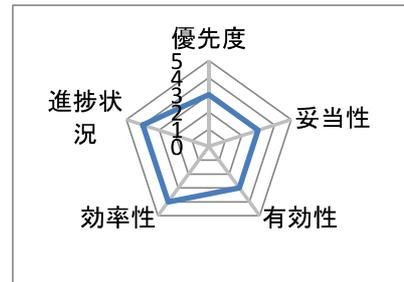
指標名1		参加校数によるコスト							
指標説明(式)		大会経費÷中・西播磨中学校参加校数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10,729	32,734	305.1	31,267	95.5	29,333	93.8	
	実績	10,666	31,787	298.0	29,707	93.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	近隣市町中学生との交流と普段の部活動の成果を発揮し、生徒の健全育成が図れた。	3
	市民サービス	近隣市町中学生との交流と生徒の健全育成が図れた。	
効率性	コストの節減	中学校体育連盟と連携し、適正に運営することができた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	32.5
総合評価	21.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202030400	事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	学校体育振興事業	予算事業名	学校体育振興事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項	健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒				
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の健康づくり及び体力向上を図る。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校では、校内マラソン大会やなわとび検定及び泳力検定等により、中学校では、運動部活動や体育大会への参加等により、児童生徒の健康及び体力づくりを推進する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100	0.120	150	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.020	167	0.020	100	
支出内訳	人件費	1,020,160	997,688	98	1,016,909	102	1,278,341	126	
	事業費	4,554,820	4,510,436	99	4,891,690	108	5,092,000	104	
	合計	5,574,980	5,508,124	99	5,908,599	107	6,370,341	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,574,980	5,508,124	99	5,908,599	107	6,370,341	108	
合計	5,574,980	5,508,124	99	5,908,599	107	6,370,341	108		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		県大会以上の大会出場状況							
指標説明(式)		中学校生徒の県大会以上の大会出場による部活動成果の向上の把握							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	10	100.0	
	実績	14	11	78.6		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

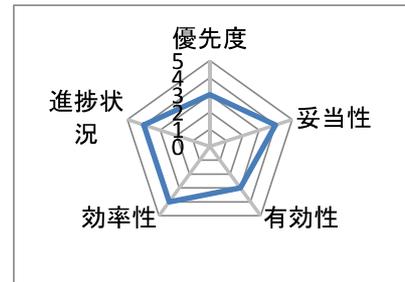
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童・生徒の健康づくりの推進及び体力向上を図った。	3
	組織運営・適正管理	各小中学校や関係機関と連携し、児童・生徒の健全育成を図った。	
効率性	コストの節減	バス借上げ等のための見積もり合わせを行うなど、コストの抑制に努めた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	相生市中学校体育連盟と連携し、コロナウイルス感染症対策を徹底した事業実施に努める。

配点	32.5
総合評価	23

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202030500		事業の種類	1				
年度	1	事務事業名	学校医等委嘱事業		予算事業名	学校医等委嘱事業		優先度	3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課					
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也		担当者名	竹口 智哉		
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十二年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和三十二年法律第二十六号)								
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員								
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び園児並びに職員								
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び園児並びに職員の健康の保持増進を図り、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		園児、児童、生徒の健康管理のために学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.104	0.104	100	0.120	115	0.120	100	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	1,226,464	1,198,256	98	1,312,509	110	1,278,341	97	
	事業費	13,089,684	12,853,868	98	13,045,300	101	13,329,000	102	
	合計	14,316,148	14,052,124	98	14,357,809	102	14,607,341	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	14,316,148	14,052,124	98	14,357,809	102	14,607,341	102	
合計	14,316,148	14,052,124	98	14,357,809	102	14,607,341	102		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

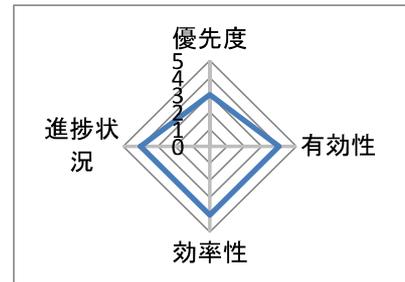
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図ることができた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康管理が実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的な予算執行を行った。	4
	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	学校医が担当する学校園数や園児・児童・生徒数に偏りがある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生市医師会等と協議し、学校医の適正な配置を行う。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202030600		事業の種類	1		
年度	1	事務事業名	児童・生徒等健康管理委託事業		予算事業名	児童・生徒等健康管理委託事業 優先度		3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也		担当者名	竹口 智哉
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		学校保健法(昭和三十二年四月十日法律第五十六号) 学校教育法(昭和三十二年法律第二十六号)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員						
	誰(何)を対象として	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図り、もって学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		児童、生徒、学生又は幼児及び職員の健康診断、環境衛生検査、安全点検その他の保健又は安全に関する事項について計画を立て、これを実施する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	園児・児童・生徒心臓等検診	件	3,427	3,568	3,971	3,598	
	教職員健康診断	人	231	195	198	218	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.136	0.136	100	0.160	118	0.160	100	
	臨時職員	0.024	0.024	100	0.020	83	0.020	100	
支出内訳	人件費	1,483,976	1,447,220	98	1,608,109	111	1,578,221	98	
	事業費	5,091,477	5,435,267	107	5,502,177	101	5,653,000	103	
	合計	6,575,453	6,882,487	105	7,110,286	103	7,231,221	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,575,453	6,882,487	105	7,110,286	103	7,231,221	102	
合計	6,575,453	6,882,487	105	7,110,286	103	7,231,221	102		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

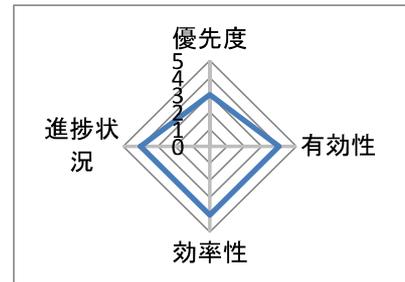
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童、生徒、学生及び幼児並びに職員の健康の保持増進を図った。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた、健康診断等が実施できた。	
効率性	執行体制の効率性	法律に基づいた執行体制を効率的に運営した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	相生市医師会等との検診日程等の調整を円滑に行う。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	コロナウイルス感染症対策を徹底し、児童生徒の健康の保持・増進に務める。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202030700		事業の種類	1				
年度	1	事務事業名	学校健康センター事業		予算事業名	学校健康センター事業		優先度	3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課					
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山本 哲也		担当者名	竹口 智哉		
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		独立行政法人日本スポーツ振興センター法(平成14年法律第162号)								
事業の目的	誰のために(具体的に)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等								
	誰(何)を対象として	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等								
	意図(どのような状態にしたいのか)	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		児童等の幼稚園、小・中学校における負傷、疾病などの災害につき、医療費等の災害共済給付を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	加入数	人	2,343	2,337	2,384	2,374
	給付実績	件	175	200	156	180

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.208	0.224	108	0.220	98	0.220	100	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.080	40	0.080	100	
支出内訳	人件費	2,503,256	2,588,756	103	2,204,509	85	2,115,761	96	
	事業費	2,018,475	2,010,175	100	1,990,095	99	2,048,000	103	
	合計	4,521,731	4,598,931	102	4,194,604	91	4,163,761	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	982,110	979,655	100		0		-	
	一般財源	3,539,621	3,619,276	102	4,194,604	116	4,163,761	99	
合計		4,521,731	4,598,931	102	4,194,604	91	4,163,761	99	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		給付割合							
指標説明(式)		給付実績件数÷加入者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	8	7.4	92.5	7.3	98.6	7.6	104.1	
	実績	7.5	8.6	114.7	6.5	75.6			

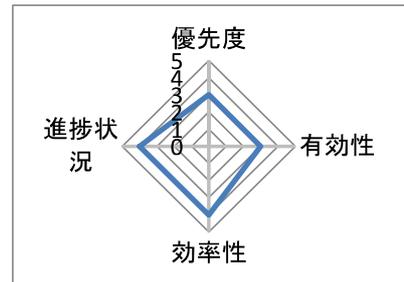
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	義務教育諸学校等の管理下における児童、生徒等の災害に関する必要な給付ができた。	3
効率性	手段の最適性	法律に基づいた保険加入。	4
	執行体制の効率性	各学校による一括加入。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	軽傷等の通院日数が少ない怪我の、給付申請件数が低調なため、保護者に制度の理解を深めていただく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	入学説明会の際に、保護者への制度周知を行う。

配点	25
総合評価	17

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202040100	事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	看護専門学校運営事業	予算事業名	看護専門学校運営事業 優先度 4	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	健康福祉部看護専門学校		
施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	山口 猛	担当者名	山口 猛
取組み事項	地域医療に貢献できる人を育てる		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規		保健師助産師看護師法及び学校教育法				
事業の目的	誰のために(具体的に)	看護師を目指す学生				
	誰(何)を対象として	看護師を目指す学生が、看護師養成校に求めるニーズ				
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域社会に貢献しうる看護師を育成するために学生が学習しやすい環境作りをし、ひいては市のPR、活性化に貢献する				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		看護・介護サービスの拡充という、時代の要請に応じた専門性を持った優秀な人材を育成するため、入学試験受験者数の確保及び看護師国家試験の合格率の向上を図った。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	受験応募者数	人	222	265	198	250
	国家試験合格率	%	100	97.1	97.2	100

## 3 投入資源

会計区分 看護学校特別会計

事業費単位:円

インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	11.134	11.149	100	11.235	101	11.000	98	
	臨時職員	1.000	1.000	100	1.000	100	0.774	77	
支出内訳	人件費	88,937,324	86,020,406	97	85,951,359	100	83,948,049	98	
	事業費	21,778,212	98,588,008	453	105,150,339	107	106,500,000	101	
	合計	110,715,536	184,608,414	167	191,101,698	104	190,448,049	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	40,890,962		0		-		-	
	一般財源	69,824,574	184,608,414	264	191,101,698	104	190,448,049	100	
	合計	110,715,536	184,608,414	167	191,101,698	104	190,448,049	100	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		看護師国家試験合格率の推移							
指標説明(式)		合格者数 ÷ 受験者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	97.1	97.1	97.2	100.1			
指標名2		看護師と准看護師の比率							
指標説明(式)		県が2年毎に集計(目標値は県平均値、実績値は西播磨医療圏域)平成2年調査時、県56%、西播磨41%							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	82	82	100.0	82	100.0	84	102.4	
	実績	72	72	100.0	74	102.8			

【効率性】

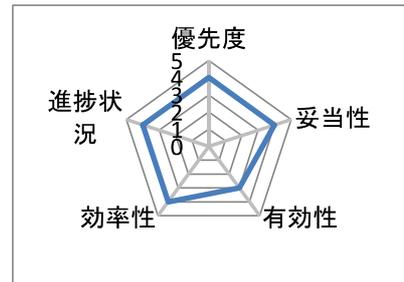
指標名1		学生一人当たりコスト							
指標説明(式)		一般会計繰入金÷学生数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	472942	504608	106.7	563792	111.7	551000	97.7	
	実績	488114	534303	109.5	579061	108.4			
指標名2		事務経費							
指標説明(式)		報酬、給与費等、賃金、健康診断料、実習委託料を除く事務経費							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8653000	8705000	100.6	14250000	163.7	14930000	104.8	
	実績	8171777	6840638	83.7	12849243	187.8			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	入学試験の出願者数は前年度を67人、25.3%下回った。また、地域社会に貢献できる有能な看護職者の養成に努め、36人の卒業生のうち、35人が看護師国家試験に合格した。	3
	成果の向上	引続き進学説明会への出席や学校訪問に積極的に取り組むとともに、入学試験制度の改革を進め、優秀な学生の確保を図っていく。	
効率性	コストの節減	実習用教材等の更新経費は増加傾向にあるが、事務経費について節減及び効果的な執行に努めた。	4
	負担割合の適正化	入学金及び授業料の改定を決定し、令和2年度入学者から適用する。入学金の改定は市外在住者を対象とし、120,000円を156,000円の30%増とし、決算見込額は対前年比900,000円(17.4%)の増となった。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね順調に推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	出願者について、前年度の対前年比19.4%増から同25.3%の減に転じた。引き続き優秀な学生確保のための一層の取組みが必要である。



配点	32.5
総合評価	25

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	受験生に対し訴求力の高い国家試験100%の達成・維持のため、質の高い教育の実践、広報活動、入試制度の改革を進める。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	優秀な学生の確保並びに国家試験全員合格の達成				
見直事項	新型コロナウイルス感染拡大の影響を念頭に置き、進学説明会への積極的な参加、説明会資料の改善及びホームページの活用等、効果的な広報活動を推進していく。また、受験生の受験動向を検証しながら、優秀な学生確保のため入試制度の改革に継続して取り組む。				
新規事項	今年度実施した校舎の耐震診断の結果を受け、仮設校舎への移転を早期に完了する。同時に現校舎の更新の早期完了に向け、関係各課と連携し事業化を進める。				
方向	継続	成果	拡大	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010202050100		事業の種類	4					
年度	1	事務事業名	教育特区事業		予算事業名	教育特区事業		優先度	3		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課					
		施策名(中)	たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	松尾 次郎		担当者名	松井 志帆		
		取組み事項	充実した高等教育の環境づくり		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
		実施計画事業名									
		根拠法規及び関連法規	構造改革特別区域法・相生市教育特区学校設置審議会条例								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民									
	誰(何)を対象として	特区で事業を実施しようとする者									
	意図(どのような状態にしたいのか)	構造改革特区法により株式会社立の学校を設置し、その学校を運営することにより生まれる効果を相生市の活性化に結び付ける。									

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生学院高等学校の認可者として、相生市教育特区学校設置審議会を開催し、学校運営等の評価及び学則変更の妥当性などの審議を行う。									
活動実績	項目	単位	29年度実績		30年度実績		1年度実績		2年度計画		
	審議会開催数	回	1		1		1		1		

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.104	0.112	108	0.124	111	0.124	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,173,784	1,202,348	102	1,291,069	107	1,279,089	99	
	事業費	30,900	38,500	125	38,500	100	116,000	301	
	合計	1,204,684	1,240,848	103	1,329,569	107	1,395,089	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,204,684	1,240,848	103	1,329,569	107	1,395,089	105	
合計		1,204,684	1,240,848	103	1,329,569	107	1,395,089	105	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		生徒数								
指標説明(式)		相生学院高等学校の生徒数								
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考	
人	目標	570	570	100.0	570	100.0	570	100.0		
	実績	517	491	95.0	575	117.1				
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

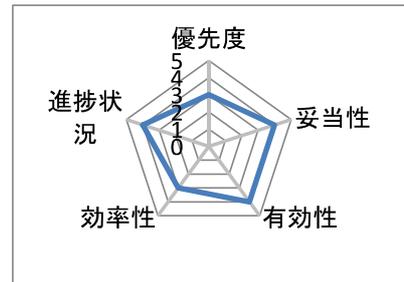
指標名1		施設に対する維持管理経費							
指標説明(式)		相生市として支出する維持管理経費(維持修繕費等)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	-	-	
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	スポーツ等における知名度の向上や様々な専門コースの設定により、少子化が進む中でも生徒数を維持している。	4
	成果目標(改善)達成度	毎年の学校評価により、より充実した教育を行うための改善が図られている。	
効率性	手段の最適性	廃校の活用について、年間の賃貸料が発生するとともに高等教育において、多様な学習形態が可能となっており、効率的と考えられる。	3
	執行体制の効率性	文部科学省及び兵庫県からの通知については、効率的に行うために電子メールによる連絡を主としており、学校及び生徒への周知が効率的に行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	学校評価の実施により、認可者として指導改善を図っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	文部科学省からの点検調査等を踏まえ、適切な学校運営が行われるよう指導・監督をする必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	市と学校が密に連携を図り、適切な学校運営が行われているか指導・監督を行う。

配点	32.5
総合評価	23

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	法令遵守のもと、学校運営の健全化、経営の安定化を図る必要がある。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203010100		事業の種類	1			
年度	1	事務事業名	小学校管理事業		予算事業名	小学校管理事業	優先度	3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課				
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛	担当者名	富田 大三		
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無		
実施計画事業名		各学校事務用コンピュータ更新			教職員用パソコン更新				
		小学校学習机更新事業			相生小学校河川法面危険樹木選定事業				
		小学校エアコン設置工事設計委託							
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法							
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設							
	誰(何)を対象として	施設運営管理							
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために小学校施設の管理運営を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	学校数	校	7	7	7	7
	児童数	人	1,416	1,398	1,417	1,385
	学級数	クラス	74	73	74	74

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.388	0.384	99	0.384	100	0.412	107	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.214	107	
支出内訳	人件費	3,892,496	3,778,196	97	3,722,469	99	3,751,093	101	
	事業費	52,592,829	63,288,555	120	57,596,596	91	83,375,000	145	
	合計	56,485,325	67,066,751	119	61,319,065	91	87,126,093	142	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	56,485,325	67,066,751	119	61,319,065	91	87,126,093	142	
合計	56,485,325	67,066,751	119	61,319,065	91	87,126,093	142		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		新JIS規格の机・椅子更新において対象児童数に対する更新割合							
指標説明(式)		整備数/必要数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		児童一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額/児童数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	40,370	42,428	105.1	49,920	117.7	60,198	120.6	
	実績	37,142	45,271	121.9	40,646	89.8			

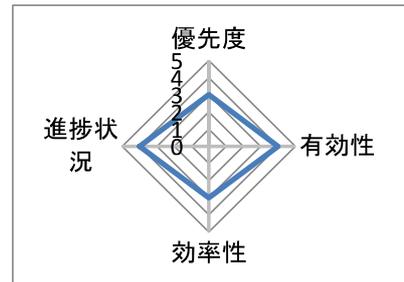
指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額/7校							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	8,166,228	8,473,571	103.8	10,105,285	119.3	11,910,714	117.9	
	実績	7,513,261	9,041,222	120.3	8,228,085	91.0			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	学校現場より消耗品費等の増額要望の声に対応できていない現状であるが、学校の創意工夫により維持できている。	4
	市民サービス	限りある予算のなかで、小学校3年生の教育環境整備のため新JIS規格の机と椅子の更新を行った。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、空調整備による光熱水費の増はおさえることができた。また、簡易な修繕については、学校職員が自主的に対応してもらった。	3
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	小学校の教育環境整備のため、新JIS規格の机・椅子に計画的に更新する。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	パソコン更新を進める上で、セキュリティについて高める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校教育課と連携しながらセキュリティポリシーを策定する。

配点	25
総合評価	17

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	空調による光熱水費について注視していく。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203010200		事業の種類	1				
年度	1	事務事業名	中学校管理事業		予算事業名	中学校管理事業		優先度	3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課					
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛		担当者名	富田 大三		
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
実施計画事業名		通学用マイクロバス運行管理委託			各中学校事務用コンピュータ更新					
		中学校学習机更新事業			教職員用パソコン更新					
		中学校エアコン設置工事委託								
根拠法規及び関連法規		相生市立学校設置条例、学校教育法								
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設								
	誰(何)を対象として	施設運営管理								
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために中学校施設の管理運営を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	学校数	校	3	3	3	3
	生徒数	人	621	631	640	678
	学級数	クラス	20	22	22	25

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.352	0.352	100	0.352	100	0.352	100	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	0.214	107	
支出内訳	人件費	3,614,648	3,540,308	98	3,485,989	98	3,301,273	95	
	事業費	32,710,222	32,722,161	100	25,323,372	77	34,931,000	138	
	合計	36,324,870	36,262,469	100	28,809,361	79	38,232,273	133	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	36,324,870	36,262,469	100	28,809,361	79	38,232,273	133	
合計	36,324,870	36,262,469	100	28,809,361	79	38,232,273	133		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		生徒一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費決算額/生徒数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	56,675	45,168	79.7	4,7723	105.7	51,520	108.0	
	実績	52,673	51,857	98.5	39,567	76.3			

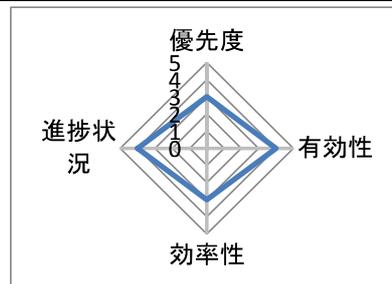
指標名2		一校当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額/3校							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	12,953,531	9,500,333	73.3	10,181,000	107.2	11,643,666	114.4	
	実績	10,903,407	10,907,387	100.0	8,441,124	77.4			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	学校現場より消耗品費等の増額要望の声に対応できていない現状であるが、学校の創意工夫により維持できている。	4
	市民サービス	限りある予算のなかで、中学校1年生の教育環境整備のため新JIS規格の机と椅子の更新を行った。	
効率性	コストの節減	学校現場の協力により、水道メーターの確認による漏水の早期発見など、経費削減の徹底ができた。また、簡易な修繕については、学校職員が自主的に対応してもらった。	3
	執行体制の効率性	学校職員との連携強化により、詳細な現状把握に努めることにより、効率性を高めることができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	中学校の教育環境整備のため、新JIS規格の机・椅子に計画的に更新した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	パソコン更新を進める上で、セキュリティについて高める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学校教育課と連携しながらセキュリティポリシーを策定する。

配点	25
総合評価	17

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	空調による光熱水費について注視していく。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203010300		事業の種類	4				
年度	1	事務事業名	幼稚園管理事業		予算事業名	幼稚園管理事業		優先度	5	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課					
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛		担当者名	富田 大三		
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
実施計画事業名		各幼稚園事務用コンピュータ更新								
根拠法規及び関連法規		学校教育法、相生市立幼稚園則								
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園施設								
	誰(何)を対象として	施設運営管理								
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理運営により、教育環境を整備する。								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		良好な教育環境を確保するために幼稚園施設の管理運営を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	幼稚園数	園	6	6	6	6
	園児数	人	385	380	340	307
	クラス数	クラス	20	20	19	18

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.280	0.280	100	0.280	100	0.328	117	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.200	100	16.137	8,069	
支出内訳	人件費	3,058,952	3,005,060	98	2,953,909	98	26,400,771	894	
	事業費	37,744,173	45,252,683	120	10,053,960	22	13,677,000	136	
	合計	40,803,125	48,257,743	118	13,007,869	27	40,077,771	308	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	40,803,125	48,257,743	118	13,007,869	27	40,077,771	308	
合計	40,803,125	48,257,743	118	13,007,869	27	40,077,771	308		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		園児数								
指標説明(式)		市立幼稚園園児数								
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考	
人	目標	420	420	100.0	400	95.2	350	87.5		
	実績	385	380	98.7	340	89.5				
指標名2		市立幼稚園就園率								
指標説明(式)		対象児童数における市立幼稚園就園率								
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考	
%	目標	60.0	60.0	100.0	60.0	100.0	55.0	91.7		
	実績	55.2	55.1	99.8	53.6	97.3				

【効率性】

指標名1		各年度の決算額							
指標説明(式)		事業費決算額(令和1年度まで臨時職員賃金及びパート職員賃金含)							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	13,677,000	-	
	実績	37,744,173	45,252,683	119.9	35,473,795	78.4			

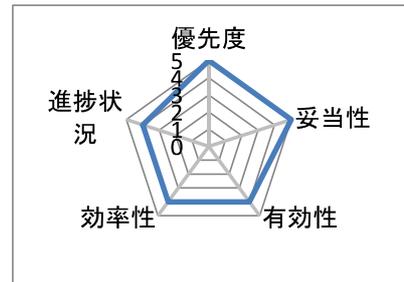
指標名2		1園当たりのコスト							
指標説明(式)		事業決算額/6園							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	2,279,500	-	
	実績	6,290,695	7,542,113	119.9	5,912,299	78.4			

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	3歳児保育の実施により、幼児の豊かな心の育成、基本的な生活習慣の形成が図れている。	4
	成果目標(改善)達成度	就園率が低下している。	
効率性	コストの節減	令和元年度は空調整備に関する臨時的経費がなくなったことにより、決算額が減少している。	4
	執行体制の効率性	臨時職員及びパート職員の人数により、年度間の増減があるが、効率的な園運営との費用対効果を検証している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	教育わくわくプランに基づいて進めている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	国の働き方改革により、女性の就労率が上昇していることによる就園率が低下している。



配点	32.5
総合評価	29.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	共働き世帯であっても短時間勤務の世帯などが就園可能なサービスを検討する。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	就園率等を踏まえ、市長部局と就学前児童全体のあり方について検討を行う。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203010400		事業の種類	6		
年度	1	事務事業名	小学校施設整備事業		予算事業名	小学校施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛	担当者名	國重 勉	
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		小学校その他工事			小学校施設整備			
		各小学校プールろ材入れ替え			矢野川小中学校整備事業			
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために小学校施設の営繕工事を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	維持修繕件数	件	58	66	67	67
	工事請負件数	件	9	12	9	9

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.568	0.540	95	0.540	100	0.476	88	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.020	50	
支出内訳	人件費	4,860,296	4,494,860	92	4,467,309	99	3,947,273	88	
	事業費	41,242,289	25,648,291	62	342,768,559	1,336	112,661,000	33	
	合計	46,102,585	30,143,151	65	347,235,868	1,152	116,608,273	34	
財源内訳	国庫支出金			-	54,053,000	-	32,190,000	60	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	46,102,585	30,143,151	65	293,182,868	973	84,418,273	29	
	合計	46,102,585	30,143,151	65	347,235,868	1,152	116,608,273	34	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		小学校施設の耐震化率							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

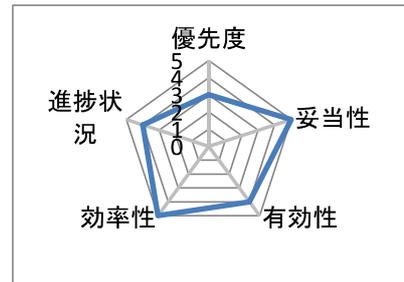
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所増加、緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	施設の老朽化により、修繕の必要性が増加している。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	児童の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	26.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	市内の公共施設全般を対象とした更新計画の中で、現状を踏まえた大規模改修等を検討する。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203010500		事業の種類	6		
年度	1	事務事業名	中学校施設整備事業		予算事業名	中学校施設整備事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛	担当者名	國重 勉	
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名		中学校その他工事			中学校施設整備			
		各中学校ろ材入れ替え						
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒						
	誰(何)を対象として	施設整備						
	意図(どのような状態にしたいのか)	安全安心な教育環境の整備						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために中学校施設の営繕工事を行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	維持修繕件数	件	37	39	29	29	
	工事請負件数	件	4	8	6	6	

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.380	0.364	96	0.364	100	0.336	92	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.020	50	
支出内訳	人件費	3,409,312	3,186,476	93	3,166,669	99	2,897,693	92	
	事業費	16,965,625	20,186,620	119	238,288,327	1,180	69,678,000	29	
	合計	20,374,937	23,373,096	115	241,454,996	1,033	72,575,693	30	
財源内訳	国庫支出金			-	30,535,000	-	12,568,000	41	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	20,374,937	23,373,096	115	210,919,996	902	60,007,693	28	
	合計	20,374,937	23,373,096	115	241,454,996	1,033	72,575,693	30	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		中学校施設の耐震化率							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

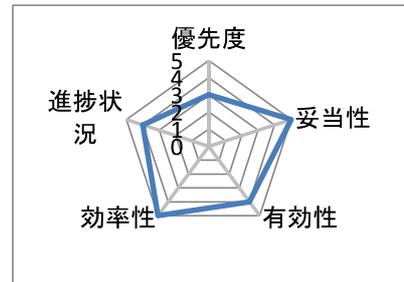
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	老朽化等による改修箇所が増加及び緊急的な修繕対応の必要性等により、目標値の設定が困難である。	4
効率性	手段の最適性	施設の老朽化等により改修箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	施設の老朽化により、修繕の必要性が増加している。



配点	32.5
総合評価	26.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	生徒の安全を最優先に考え、その上で優先順位を持って改修を進める。

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	市内の公共施設全般を対象とした更新計画の中で、現状を踏まえた大規模改修等を検討する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203010600		事業の種類	6				
年度	1	事務事業名	幼稚園施設整備事業		予算事業名	幼稚園施設整備事業		優先度	3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課					
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛		担当者名	國重 勉		
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	有		主要事業の指定	有		
実施計画事業名		幼稚園その他工事			幼稚園施設整備					
		幼稚園総合遊具等更新			幼稚園エアコン設置工事設計委託					
根拠法規及び関連法規										
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼稚園児								
	誰(何)を対象として	施設整備								
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な教育環境の整備								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		安全安心な教育環境を確保するために幼稚園施設の営繕工事を行う。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	維持修繕件数	件	12	14	8	8
	工事請負件数	件	4	4	4	4

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.340	0.320	94	0.320	100	0.292	91	
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.040	100	0.020	50	
支出内訳	人件費	3,100,592	2,859,380	92	2,841,509	99	2,567,825	90	
	事業費	8,720,916	8,080,128	93	57,127,980	707	5,400,000	9	
	合計	11,821,508	10,939,508	93	59,969,489	548	7,967,825	13	
財源内訳	国庫支出金			-	10,095,000	-		0	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	11,821,508	10,939,508	93	49,874,489	456	7,967,825	16	
合計	11,821,508	10,939,508	93	59,969,489	548	7,967,825	13		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		耐震化率							
指標説明(式)		幼稚園施設の耐震化率							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

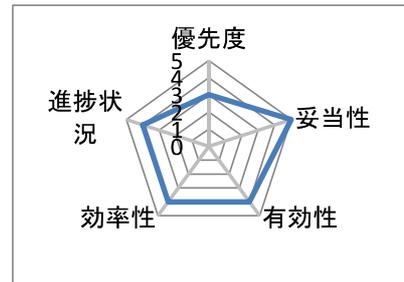
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	園舎は、学校施設の中では、比較的新しい建物が多いが、老朽化等による改修箇所が増加傾向にあるため、突発的な修繕の必要性により、目標値を設定することが困難である。	4
効率性	手段の最適性	老朽化してきている施設もあり、修繕箇所が増加していることや突発的な緊急修繕が必要な場合があるが、原則的には、適切な優先順位を持って改修を進めている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	施設の老朽化が進んでいる施設もあり、修繕の必要性が増加している。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	園児の安全確保を優先に考え、適切な優先順位を持って改修を進める。

配点	32.5
総合評価	25.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	市内の公共施設全般を対象とした更新計画の中で、現状を踏まえた大規模改修等を検討する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203010700		事業の種類	2			
年度	1	事務事業名	学校教育施設整備基金事業		予算事業名	学校教育施設整備基金事業 優先度		3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課				
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛		担当者名	國重 勉	
取組み事項		教育施設を整備する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校施設							
	誰(何)を対象として	施設維持管理							
	意図(どのような状態にしたいのか)	教育環境整備を実施するための基金							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		学校施設の維持管理のために要する工事及び修繕等に必要な経費に充てる基金の積み立て、基金の活用を図る。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	積立額		1,976,202	1,960,320	2,008,701	2,008,701	
	基金総額		15,212,015	17,186,177	19,194,878	21,203,579	

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	432,856	429,212	99	433,829	101	409,437	94	
	事業費	1,976,202	1,974,162	100	2,008,701	102	2,000,000	100	
	合計	2,409,058	2,403,374	100	2,442,530	102	2,409,437	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,409,058	2,403,374	100	2,442,530	102	2,409,437	99	
	合計	2,409,058	2,403,374	100	2,442,530	102	2,409,437	99	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

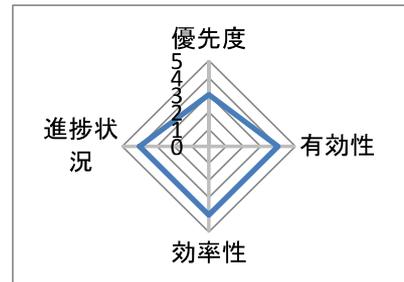
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の老朽化対策等にあてるため、旧相生中学校の使用料を継続して基金に積み立てを行った。	4
効率性	手段の最適性	普通財産である旧相生中学校の貸付料の額を積み立てており、手段は最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	長期的な改修計画のなかで、基金の使用計画を検討する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	今後の施設改修計画において、基金目的に合致する事業に財源として検討する。

配点	25
総合評価	18

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項	賃借料の見直しがあった場合は、積立額を検討する必要がある。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203020100		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	相生市奨学金事業		予算事業名	相生市奨学金事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛	担当者名	松本 千華	
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		市奨学金基金条例、市奨学金支給規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	高等学校へ就学する生徒の保護者						
	誰(何)を対象として	学費、交通費						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		高等学校等に在籍するもののうち、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な者への援助を行う。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	申請者数	人	36	29	16	45	

## 3 投入資源

		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.124	100	0.120	97	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,328,144	1,291,556	97	1,291,069	100	1,249,101	97	
	事業費	1,085,000	875,000	81	560,000	64	1,701,000	304	
	合計	2,413,144	2,166,556	90	1,851,069	85	2,950,101	159	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	560,000	-	1,700,000	304	
	一般財源	2,413,144	2,166,556	90	1,291,069	60	1,250,101	97	
合計	2,413,144	2,166,556	90	1,851,069	85	2,950,101	159		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		奨学生の申請者数と認定者数							
指標説明(式)		申請者数(目標)と認定者数(実績)による、ニーズと達成度。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	36	29	80.6	45	155.2	45	100.0	
	実績	31	25	80.6	16	64.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

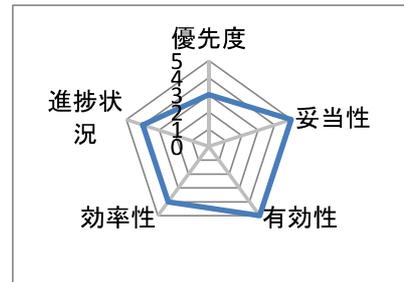
指標名1		奨学生の認定方法							
指標説明(式)		申請世帯の収入状況を示す生活点と成績点を考え合わせ、教育委員会で決定する。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	認定基準を明確化したことにより、事業目的の達成度が高くなった。	5
	市民サービス	選定基準の見直しにより、本来必要とする者への支援を行うことができ、サービスの向上が図れた。	
効率性	コストの節減	県制度との重複部分を廃止することで、予算コストは節減されており、現制度における費用対効果は高かった。	4
	手段の最適性	成績及び所得の観点から判断しており、認定者の選定手段は適正である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	現状にあわせた見直しを行い、事務の効率化を図る。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	規則改正も含めて検討する。

配点	32.5
総合評価	26.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	国・県等の奨学金制度、社会情勢を継続して注視していく必要がある。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203020200	事業の種類	1
年度	1	事務事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業	予算事業名	小学校要・準要保護児童就学援助事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛
取組み事項		教育の機会均等を確保する		担当者名	松本 千華
				実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		学校教育法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な児童			
	誰(何)を対象として	学費の一部			
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な児童に対し、学用品費、通学費などの一部を支給し、支援をする。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	対象(認定)人員	人	29	36	36	40

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.100	0.096	96	0.096	100	0.108	113	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,142,912	1,083,404	95	1,084,149	100	1,159,137	107	
	事業費	2,013,145	1,632,371	81	1,516,858	93	1,963,000	129	
	合計	3,156,057	2,715,775	86	2,601,007	96	3,122,137	120	
財源内訳	国庫支出金	13,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,143,057	2,715,775	86	2,601,007	96	3,122,137	120	
合計	3,156,057	2,715,775	86	2,601,007	96	3,122,137	120		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		教育の機会均等							
指標説明(式)		経済的な理由により学校への就学が困難な生徒に対し、学用品費、通学費などの一部を支給することで教育の機会均等を図る。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

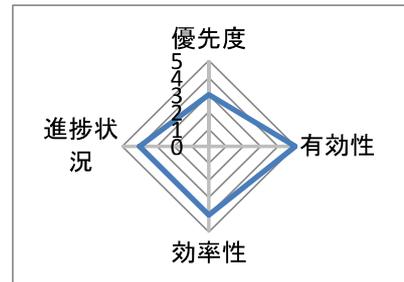
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	児童の教育の機会均等が図られている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	就学困難と認められる学童児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことは法令からみて効果がある。	
効率性	手段の最適性	認定基準に基づき認定しているため、手段は最適である。	4
	執行体制の効率性	認定にあたり学校、学校教育課などの関係部署との連携が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	対象世帯に情報が届くような周知方法が必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	ホームページ及びチラシ等での情報周知を図る。

配点	25
総合評価	19

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	現状維持を保つ				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203020300	事業の種類	1
年度	1	事務事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業	予算事業名	中学校要・準要保護生徒就学援助事業 優先度 3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	担当者名
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		補助金等適正化法			
事業の目的	誰のために(具体的に)	経済的な理由により、学校への就学が困難な生徒			
	誰(何)を対象として	学費の一部			
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的援助を行う			

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		経済的な理由により学校への就学が困難な生徒に対し、学用品費、通学費など学費の一部を支給し、支援をする。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	対象(認定)人員	人	31	34	33	29

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.100	0.096	96	0.096	100	0.108	113	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,142,912	1,083,404	95	1,084,149	100	1,159,137	107	
	事業費	3,456,525	2,962,159	86	2,971,659	100	2,625,000	88	
	合計	4,599,437	4,045,563	88	4,055,808	100	3,784,137	93	
財源内訳	国庫支出金	32,000		0		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	4,567,437	4,045,563	89	4,055,808	100	3,784,137	93	
	合計	4,599,437	4,045,563	88	4,055,808	100	3,784,137	93	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		教育の機会均等							
指標説明(式)		経済的な理由により学校への就学が困難な生徒に対し、学用品費、通学費などの一部を支給することで教育の機会均等を図る。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

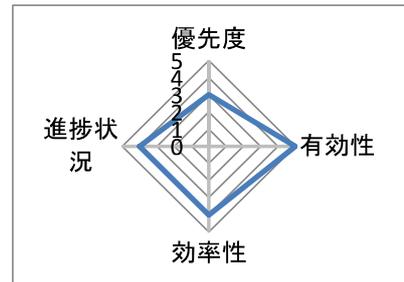
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	生徒の教育の機会均等が図られている。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	就学困難と認められる学童児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行うことは法令からみて効果がある。	
効率性	コストの節減	認定基準に基づき認定しているため、手段は最適である。	4
	執行体制の効率性	認定にあたり学校、学校教育課などの関係部署との連携が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	対象世帯に情報が届くような周知方法が必要である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	ホームページ及びチラシ等での情報周知を図る。

配点	25
総合評価	19

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	現状維持を保つ				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203020400		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	小学校通学費補助事業		予算事業名	小学校通学費補助事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛	担当者名	松本 千華	
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者						
	誰(何)を対象として	通学費						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が3キロ以上でバスを利用して通学する児童に対し、その経費の全額を補助する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	対象人員	人	12	10	12	11

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.076	0.072	95	0.072	100	0.076	106	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	957,680	904,988	94	906,789	100	919,233	101	
	事業費	487,450	405,640	83	468,370	115	435,000	93	
	合計	1,445,130	1,310,628	91	1,375,159	105	1,354,233	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,445,130	1,310,628	91	1,375,159	105	1,354,233	98	
合計	1,445,130	1,310,628	91	1,375,159	105	1,354,233	98		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象児童における補助活活用者割合							
指標説明(式)		通学距離が3キロ以上(野瀬、鵜浜、矢野町)で公共交通機関を利用して通学する児童のうち、補助申請数割合							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	100	100	100.0	100	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)		補助金支給方法について、学期ごとを選択している。							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

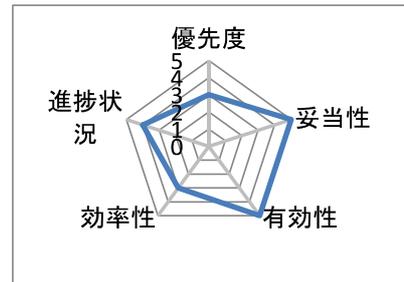
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	通学費を全額補助することで、相生市の子育て支援策として経済的支援となっている。	5
	市民サービス	公共交通機関のない地区へのタクシー利用や適応教室へ通学する児童への助成も行っており、居住地に関わらず、小学校への通学に対して無料という環境を整備していることは、市民サービスの観点からも充実している。	
効率性	コストの節減	スクールバスの運行も考えられるが、対象者を考えると費用対効果においては現在の補助制度が妥当である。	3
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、妥当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	現状の手段で課題等はない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	現状を維持する。

配点	32.5
総合評価	25.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	特になし。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203020500		事業の種類	4		
年度	1	事務事業名	中学校通学費補助関係事業		予算事業名	中学校通学費補助関係事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課			
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛	担当者名	松本 千華	
取組み事項		教育の機会均等を確保する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		市通学費補助金交付規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)	遠距離通学児童保護者						
	誰(何)を対象として	通学費						
	意図(どのような状態にしたいのか)	経済的な援助を行う						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		通学距離が5キロ以上でバスを利用して通学する生徒に対し、その経費の全額を補助する。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	対象人員	人	3	1	7	4	

## 3 投入資源

		会計区分			一般会計				事業費単位:円
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.060	0.056	93	0.056	100	0.060	107	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	834,192	786,044	94	788,549	100	799,281	101	
	事業費	233,850	161,562	69	134,244	83	414,000	308	
	合計	1,068,042	947,606	89	922,793	97	1,213,281	131	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,068,042	947,606	89	922,793	97	1,213,281	131	
	合計	1,068,042	947,606	89	922,793	97	1,213,281	131	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		対象生徒者数							
指標説明(式)		対象人員							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	6	1	16.7	1	100.0		0.0	
	実績	3	1	33.3		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

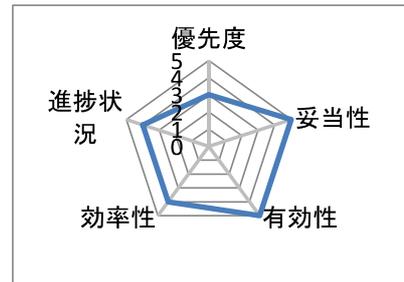
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生市の子育て支援策として通学費を全額補助することで、経済的支援となった。	5
	市民サービス	居住地に関係なく通学に要する費用の心配がないので、市民サービスが高い。	
効率性	コストの節減	一部補助という考え方にすればコスト縮減がはかれるが、当該事業目的としては全額補助による意義が強いと考えているため、縮減は困難である。	4
	手段の最適性	補助金の支給については、学期ごとに行っており、適当である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	適応教室通学者も対象としており、現状では課題等はない。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	現状を維持する。

配点	32.5
総合評価	26.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	特になし				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203030100		事業の種類	4			
年度	1	事務事業名	教育研究所運営事業		予算事業名	教育研究所運営事業			
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課			
		施策名(中)	安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	山本 哲也			
		取組み事項	子どものやる気を引き出す教職員を育成する		担当者名	竹口 智哉			
				実施計画への記載	無		主要事業の指定	無	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	学校教職員、幼稚園教諭							
	誰(何)を対象として	学校教職員、幼稚園教諭							
	意図(どのような状態にしたいのか)	研修等により学校教職員、幼稚園教諭の資質を向上させ、より充実した学校教育を推進する。							

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		教育研究所を中心に、教科指導や生徒指導などの実践的指導力の向上を図る研修講座を実施し、優れた資質・能力を持った教職員の育成に努める。					
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画	
	研修会開催	回	9	10	10	10	
	研修会開催	人	290	310	236	250	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.128	0.128	100	0.160	125	0.160	100	
	臨時職員	0.117	0.114	97	0.113	99	0.112	99	
支出内訳	人件費	1,667,194	1,636,958	98	1,845,259	113	1,712,725	93	
	事業費	4,509,585	3,854,968	85	2,700,905	70	1,751,000	65	
	合計	6,176,779	5,491,926	89	4,546,164	83	3,463,725	76	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	130,000		0		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,046,779	5,491,926	91	4,546,164	83	3,463,725	76	
	合計	6,176,779	5,491,926	89	4,546,164	83	3,463,725	76	

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		研修参加教職員数÷実施回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	28	28	100.0	30	107.1	25	83.3	
	実績	32	31	96.9	24	77.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

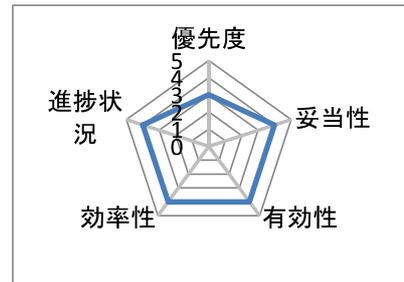
指標名1		研修講座1回当たりの参加人数							
指標説明(式)		研修参加教職員数÷実施回数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	28	28	100.0	30	107.1	25	83.3	
	実績	32	31	96.9	24	77.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	研究研修等により教職員の資質向上に有効であった。	4
	市民サービス	教職員の資質向上による保護者等の市民ニーズにある程度貢献できた。	
効率性	コストの節減	研修内容の見直しにより、コスト削減に努めた。	4
	手段の最適性	研究・研修により自主的な資質向上が図れた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学習指導要領の改訂に伴う、研修内容・体制等の見直し。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	学習指導要領の改訂に伴う、研修内容・体制等の見直し。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203040800		事業の種類	4				
年度	1	事務事業名	預かり保育事業		予算事業名	預かり保育事業		優先度	5	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課					
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛		担当者名	松本 千華		
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無		
実施計画事業名										
根拠法規及び関連法規		相生市立幼稚園預かり保育条例、相生市立幼稚園預かり保育条例施行規則、幼稚園教育要領(文科省)								
事業の目的	誰のために(具体的に)	預かり保育を希望する園児及び保護者								
	誰(何)を対象として	希望する園児								
	意図(どのような状態にしたいのか)	通常保育後の教育活動								

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		希望する園児(4歳児及び5歳児)に対して通常保育終了後、16時30分まで延長して教育活動を実施する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	月平均利用者数	人	70	59	96	100

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.104	0.156	150	0.156	100	0.156	100	
	臨時職員		0.024	-	2.356	9,817	3.721	158	
支出内訳	人件費	1,173,784	1,595,900	136	7,535,349	472	6,959,095	92	
	事業費	552,125	555,597	101	565,925	102	588,000	104	
	合計	1,725,909	2,151,497	125	8,101,274	377	7,547,095	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他		3,370,000	-	1,650,000	49	0	0	
	一般財源	1,725,909	-1,218,503	-71	6,451,274	-529	7,547,095	117	
合計	1,725,909	2,151,497	125	8,101,274	377	7,547,095	93		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		月平均利用者数								
指標説明(式)		全市立幼稚園における預かり保育月平均利用者数								
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考	
人	目標	90	70	77.8	70	100.0	100	142.9		
	実績	70	59	84.3	96	162.7				
指標名2										
指標説明(式)										
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考	
	目標			-		-		-		
	実績			-		-		-		

【効率性】

指標名1		利用者一人あたりのコスト							
指標説明(式)		総事業費決算額／利用者数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	19,524	25,516	130.7	32,064	125.7	75,470	235.4	
	実績	24,655	36,466	147.9	84,388	231.4			

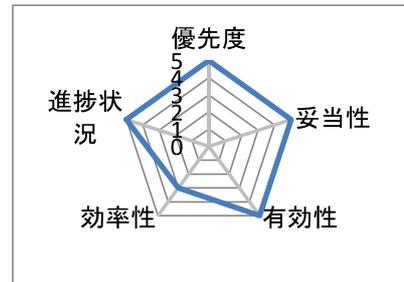
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	保護者からは、ゆとりを持って子育てを行うことができたなどの声も聞かれており、子育て支援としての成果目標は達成している。	5
	市民サービス	10月以降国の幼児教育保育の無償化の対象となったことから、対象外である専業主婦世帯等についても市の減免制度により無償化し、市民サービスに寄与できた。	
効率性	コストの節減	預かり保育料を無償化したことから、利用料歳入は減少している。	3
	執行体制の効率性	専門の支援員を雇用し、園長の指揮の元、事業運営している。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	現時点においては、順調に事業を展開している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	利用者増により有効性のある事業となっているが、それに伴う指導員の確保が課題である。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	預かり保育指導員の資格について、学童保育を参考にするなど検討する。

配点	32.5
総合評価	30.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	定員及び指導員のあり方について検討を行う。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203040900		事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	市立幼稚園保育料軽減事業		予算事業名	優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる		担当課長	團 剛	担当者名	松本 千華
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例、相生市立幼稚園入園料及び保育料徴収条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	相生市立幼稚園に通園する園児					
	誰(何)を対象として	相生市内に住所を有する園児					
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼稚園への就園機会の拡充、園児数拡大による幼稚園教育の充実及び子育て世帯の経費の負担軽減					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市内公立幼稚園に通園する市内に住所を有する園児の保育料を無料とする。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	園児数(5月1日現在)	人	385	380	340	307
	就園率	%	55.2	55.0	51.9	55.0

## 3 投入資源

インプット指標		会計区分			事業費単位:円				備考
		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	432,856	429,212	99	433,829	101	349,461	81	
	事業費			-		-		-	
	合計	432,856	429,212	99	433,829	101	349,461	81	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	432,856	429,212	99	433,829	101	349,461	81	
合計	432,856	429,212	99	433,829	101	349,461	81		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市立幼稚園園児数							
指標説明(式)		5月1日現在の全6園総園児数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
人	目標	385	380	98.7	340	89.5	307	90.3	
	実績	385	380	98.7	340	89.5			
指標名2		保育料無料化相当額							
指標説明(式)		市内に住所を有する園児に係る無料化相当額							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
円	目標	27,216,000	27,144,000	99.7	22,242,000	81.9	0	0.0	
	実績	27,426,000	26,844,000	97.9	12,126,000	45.2			

【効率性】

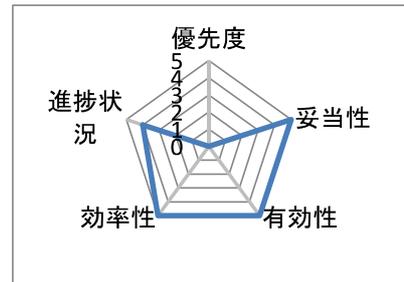
指標名1		市外通園者数							
指標説明(式)		市外に住所を有する者からの保育料徴收件数							
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
件	目標	7	3	42.9	3	100.0	0	0.0	
	実績	9	4	44.4	3	75.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市内園児の就園率については、当事業実施後も大きな変化はないが、これは幼児が通う施設の棲み分けが出来ているからであると判断している。	5
	市民サービス	国と市の施策の違いがあるが、子育て世帯の経済負担の軽減は図れている。	
効率性	手段の最適性	3～5歳児は全て無償化となったことで、市外の利用者の徴収事務がなくなり簡素化された。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	保護者より評価を得ており、目的に沿った事業運営が図られている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	32.5
総合評価	21.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容			
重点事項				
見直事項				
新規事項				
方向	廃止	成果		総コスト

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203041000	事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	矢野・若狭野小学校交流事業	予算事業名	矢野・若狭野小学校交流事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	矢野小学校、若狭野小学校の児童				
	誰(何)を対象として	矢野小学校、若狭野小学校の児童				
	意図(どのような状態にしたいのか)	合同授業等を行うなどの交流を続け、教育的な効果が得られるようにする。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		学年単位で合同授業及び行事を実施し、両校の児童間の交流を図る。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画
	実施回数	回	21	22	20	

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.096	0.120	125	0.140	117	0.120	86	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,112,040	1,261,820	113	1,409,309	112	1,249,101	89	
	事業費	113,400	116,640	103	68,200	58	132,000	194	
	合計	1,225,440	1,378,460	112	1,477,509	107	1,381,101	93	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,225,440	1,378,460	112	1,477,509	107	1,381,101	93	
合計	1,225,440	1,378,460	112	1,477,509	107	1,381,101	93		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

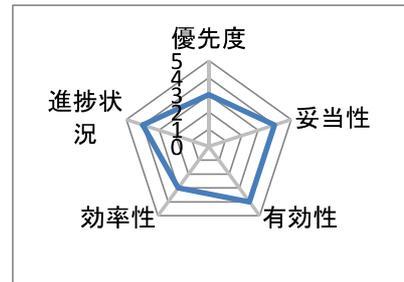
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	学習集団の変化による、学習意欲の高まりと子ども同士の学び合いの活性化を図った。	4
効率性	手段の最適性	長期的な視野で、より教育的な効果が得られる授業を計画・実施する。	3
	コストの節減	参加人数を考慮のうえ、公用車や市所有マイクロバスを使用することで、バス賃借料の縮減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	事業計画が固定化されつつあるため、児童数や学年、ニーズに応じた計画を立案する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
		なし

配点	32.5
総合評価	23

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010203041100	事業の種類	4	
年度	1	事務事業名	相生市小中一貫教育推進事業	予算事業名	相生市小中一貫教育推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		安心して学べる教育環境をつくる	担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		子どもの育成環境の充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名						
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	幼・小・中学校の園児・児童・生徒				
	誰(何)を対象として	幼・小・中学校の園児・児童・生徒				
	意図(どのような状態にしたいのか)	幼・小・中学校の12年間を通して継続的な教育を行い、子どもたちの能力を最大限に伸ばす。				

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		一貫性を持った教育推進に向けた、研究会の実施及び先進地等の視察を検討する。				
活動実績	項目	単位	29年度実績	30年度実績	1年度実績	2年度計画

## 3 投入資源

		会計区分 一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		29年度決算	30年度決算	前年比	1年度決算	前年比	2年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.028	100	0.029	104	0.027	93	
	参事以下職員	0.120	0.132	110	0.180	136	0.180	100	
	臨時職員	0.008	0.008	100	0	0	-	-	
支出内訳	人件費	1,318,344	1,373,180	104	1,704,909	124	1,698,921	100	
	事業費	85,950	52,740	61	110,339	209	130,000	118	
	合計	1,404,294	1,425,920	102	1,815,248	127	1,828,921	101	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,404,294	1,425,920	102	1,815,248	127	1,828,921	101	
合計	1,404,294	1,425,920	102	1,815,248	127	1,828,921	101		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

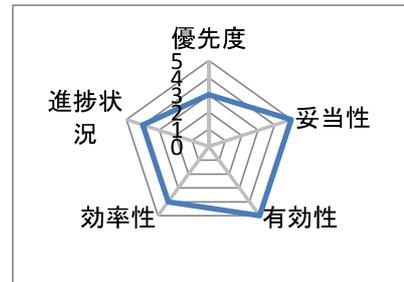
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	29年度	30年度	前年比	1年度	前年比	2年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(1年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	幼稚園教育と義務教育9年間を見通した系統性・継続性のある教育による児童・生徒の健全育成・学力の向上を目指す。	5
	成果の向上	中学校区ごとに「めざす子ども像」を明確にし、学校・家庭・地域の連携による教育環境づくりを行った。	
効率性	手段の最適性	幼・小・中学校の連携体制を構築するための、先進自治体での研修を実施した。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	先進地視察や、事例研究により得た情報・成果を教職員へ、フィードバックする体制を構築する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた2年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	幼稚園を含めた、幼小中一貫の取り組みを推進する。

配点	32.5
総合評価	26.5

(2) 3年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項					
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持